

東京エリア デビアン 勉強会



Debian勉強会幹事 上川純一

2009 年 8 月 8 日

1 Introduction

上川 純一

今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian の世界にあしを踏み入れるという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

Debian 勉強会の目的は下記です。

- Debian Developer (開発者) の育成。
- 日本語での「開発に関する情報」を整理してまとめ、アップデートする。
- 場 の提供。
 - 普段ばらばらな場所にいる人々が face-to-face で出会える場を提供する。
 - Debian のためになることを語る場を提供する。
 - Debian について語る場を提供する。

Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作るスーパーハッカーになった姿を妄想しています。情報の共有・活用を通して Debian の今後の能動的な展開への土台として、「場」としての空間を提供するのが目的です。

2009 年の計画は仮です。

1. 新年の企画 (アンサンブル荻窪開催)

2. OSC Tokyo
3. VAIO P インストール記録、カーネル読書会
ディストリビューション大集合 (小林さん)(東京大学?)
4. Git Handson (岩松)(あんさんぶる荻窪?)
5. 家 Debian サーバ vs 職場のネットワーク (千代田区都立図書館?*¹)
6. Asterisk (東京大学?)
7. スペインにて開催
8. Debconf 報告会
9. OSC Fall?
10. udev + HAL(岩松さん)
11. 3D graphics 開発 (藤沢さん)
12. Debian サーバ + VMware + 各種 OS、他の仮想化ツール (vserver etc.)、忘年会

会場候補としては下記があります：

- 大学
- 恵比寿 SGI ホール
- Google オフィス
- 公民館 (あんさんぶる荻窪等)
- 都立会議室 (無線 LAN)
- 健保の施設

*¹ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

Debconf 2009 ビット

目次

1	Introduction	1
2	最近の Debian 関連のミーティング報告	3
3	Debian Trivia Quiz	5
4	Debian JP 会長就任の挨拶	6
5	Debian Conference 2009 参加報告	7

2 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川 純一



2.1 東京エリア Debian 勉強会 53 回目報告

東京エリア Debian 勉強会報告。2009 年 6 月 20 日土曜日に東京エリア Debian 勉強会の第 53 回市ヶ谷の会議室で開催しました。ネットワーク接続も可能な近代的な円卓の会議室でした。今回の参加者は荒木靖宏, 吉田@板橋, 川本, 山根, キタハラ, 日比野, masaka, 前田, 吉野, あけど, 山本 浩之, Norbert Preining, でん, 上川の 14 名でした。

まず、クイズ。

山田琢磨さんが資料を作成していたのですが、今日はこれないということなので、あけどさんと上川が司会進行をつとめながら DDTSS のディスカッション。みんな先月よりも作業ができていますので実際の作業内容と課題についてより深い議論ができました。上川は作業するときにみやすいように英語と日本語を横に並べて表示するための greasemonkey を紹介しました。あけどさんは翻訳作業の際の tips を紹介。今回も omegat の使い方についてちょっと話題にのぼりましたが、結局会場の中では誰もつかったことがないのでそのままお流れに。翻訳辞書も greasemonkey で検索できるようにしたら使いがよいだろうという話題とかが出ました。

吉野さんが bsdstats パッケージを作成して、Debian kFreeBSD のインストールベースを増やしたら可視化できるように。

山本さんが Debian kFreeBSD のインストールの手順を実演。事前資料に書いてある内容ではインストールできないのでみんなその場でインストールしていました。

宴会は安安にて。

2.2 2009 年 6 月勉強会アンケート結果

Google Moderator^{*2} を使って 2009 年 6 月勉強会のアンケートをとりました。

新しい要素を提案できる仕組みなのですが、誰も追加してくれませんでした。残念です。どのようにしたらうまく追加してもらえるようになるのが課題でしょう。説明がたりなかったのでしょうか？

事前に上川が登録した提案については投票結果が出ています。投票に 10 人が参加しました。

投票で賛成票が多かった提案。

- ”次回はスペインで 開催された Debconf の内容について報告してほしい” – 圧倒的な支持を受けました。8 月の勉強会の中心にする予定です。
- ”事前課題は 6 月の DDTSS についてのもののように実際の Debian Project に貢献するような実践的な内容

^{*2} <http://moderator.appspot.com/#15/e=477a&t=95347>

を設定してほしい” – 実践的な内容にしていこうと思います。

- ”演習問題 (Quiz) の難易度はより演習形式にしたほうがよい。” – 演習形式にしてみようかと思います。
- ”勉強会で DebianJP 会長の就任演説をするべきだ。” – 過半数の支持がありましたが、そこまで積極的な感じではないので、ちょっとだけ就任演説をしてもらおうと思います。
- ”講義形式より、ハッカソン形式にしたほうがよい” – 過半数ではありますが、圧倒的多数ではないので、ハッカソンのみに切り替えるのは少し違うのかな、と思いました。

投票で反対票が多かった提案。

- ”会費が高くなっても印刷資料は欲しい。” – 無理に印刷資料は用意しなくてよいのではないかと思います。
- ”会費が高くなっても会場はネットワークがつながった方がよい” – 市ヶ谷の会場はネットワークが接続できたのですが、高価でした。今後も使うかどうか迷ったのですが、投票の結果から考えて、必要ないのではないか、という印象です。

2.3 東京エリア Debian 勉強会 54 回目報告

スペインで開催されたようです。

3 Debian Trivia Quiz

上川 純一

ところで、みなさん Debian 関連の話題においついていますか？ Debian 関連の話題はメーリングリストをよんでいると追跡できます。ただよんでいるだけではりあいがないので、理解度のテストをします。特に一人だけでは意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで一緒に読んでみましょう。

今回の出題範囲は `debian-devel-announce@lists.debian.org` に投稿された内容と Debian Project News からです。

4 Debian JP 会長就任の挨拶

岩松

Debian JP Project 会長になった岩松だけど、何か質問ある？



5 Debian Conference 2009 参加報告

武藤 健志、前田 耕平、山根 秀樹、岩松 信洋



5.1 Debconf とは

2009 年度の Debconf は 6 月 23 日から 6 月 30 日まで、スペインのエクストラマドゥーラで行われました。日本からは、武藤 健志、前田 耕平、山根 秀樹、岩松 信洋が参加しました。

5.1.1 Debconf の歴史・経緯

Debian Conference <http://debconf9.debconf.org/> は Debian の開発者たちが一同に介するイベントです。通常顔をあわせることのないメンバーたちが一同に介し友好を深め、技術的な議論を戦わせます。過去の開催履歴を見ると表 1 のようになります。

表 1 歴代の Debconf 参加者推移

年	名前	場所	参加人数
2000	debconf 0	フランス ボルドー	
2001	debconf 1	フランス ボルドー	
2002	debconf 2	カナダ トロント	90 名
2003	debconf 3	ノルウェー オスロ	140 名
2004	debconf 4	ブラジル ポルトアレグレ	150 名
2005	debconf 5	フィンランド ヘルシンキ	200 名
2006	debconf 6	メキシコ オアスタベック	300 名
2007	debconf 7	英国スコットランド エジンバラ	約 400 名
2008	debconf 8	アルゼンチン マルデルプラタ	約 200 名
2009	debconf 9	スペイン エクストラマドゥーラ	約 250 名

5.1.2 Debconf 2009

2009 年度の Debconf の会場はエクストラマドゥーラ州のカセレス (Caceres) にある州が管理する施設を活用しました。専用のネットワーク回線をはりめぐらせ、無線 LAN メインのネットワークを構築していました。(OpenWrt を使っていたようです。) ネットワークはスペインのネットワーク会社である telefonica の協力のもと行われたようです。

宿泊は会場にある宿泊施設と、会場から徒歩 15 分程度に位置する Francisco de Sande に分散していました。

5.2 スペイン/カセレス

5.2.1 行き方

行き方としては空路を使った場合、日本からスペイン/マドリッド、マドリッドからカセレスという順になります。日本からマドリッド（バラハス国際空港）までは直行便がありません。どこかでトランジットが必要になります。各メンバはタイ国際空港経由で入国しました。距離は約 10000km。飛行時間は約 21 時間かかります（日本からタイまで約 5 時間、タイからマドリッドまで約 16 時間）。バラハス国際空港からマドリッドの市街に移動し、さらに列車で 4 時間ほど移動する必要があります。列車のチケットは予約する必要があります、座る場所も決まっています。マドリッドにあるターミナル駅、アートチャ駅で購入することも可能ですが、日本チームはインターネットでチケットを予約し、印刷して持っていました。

5.2.2 会場

会場は、エクストラマドゥーラの施設を借り切って開催されました。先に書いたとおり、宿泊施設が併設されており、4 割の参加者は併設した宿泊施設から参加していました。もう片方の宿泊施設である Francisco de Sande は世界遺産である遺跡の中にあり、ゲームに出てきそうな宿でした。併設された宿泊施設には発表者やメイン開発者が泊っており、ここでも格差社会が見え隠れしています。debconf の前にやっている debcamp と呼ばれるものがあり、こちらは開発が主体になっています。開発メインで行いたい人は debcamp から参加するとよいでしょう。



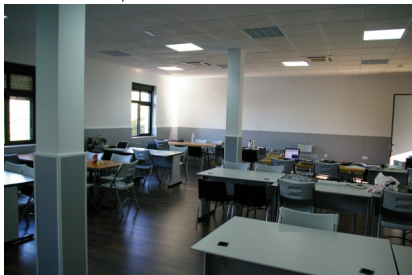
- Upper Talk Room: メイン用。250 人ほど入ることができます。



- Lower Talk Room: サブ会場。50 人ほど入ることができます。
- BoF Room

BOF 用。30 人ほど入ることができます。プレゼンテーション設備がないため、皆パソコンを開いてプレゼンテーション資料を見ていました。また、空調設備が貧弱なため、蒸し風呂状態でした。

- Hacklab 1/2 および 食堂: Hacklab はハック専用の部屋です。



5.3 スケジュール

23 日の Debian Day で Debian Conference は開幕し、30 日まで毎日いろいろな予定が組まれていました。27 日だけはカンファレンス参加者で day-trip を実施しました。

5.4 主となった討論

5.4.1 i18n 関係

今回も 4 回の i18n セッションが設けられ、リリースノート翻訳、DDTP、Wiki をつかった 翻訳などの検討が行われたようです。DDTP 翻訳パーティを検討されているようなので、日本からも参加できるようにしたいところです。

5.4.2 組み込み関係

組み込み関係のセッションは全部で 9 つあり、組み込みからマルチアーキテクチャサポートなどが議論されました。

5.4.3 Multiarch round table

5.4.4 Openmoko Buzz Fix Party

カンファレンス参加者に格安で提供された OpenMoko のバグフィックスパーティ。OpenMoko はフリーな携帯電話なのですが、日本では使えないので、購入はしませんでした。買った人に見せてもらったのですが、なかなかよさげです。Android も動きますし。ただ、うまく携帯としてつかえないことがあるようで... (以下略)。

5.4.5 Mer: Maemo Reconstructed

Maemo のコミュニティ向け環境 Mer についての説明。タブレット PC 向けのようなのですが、N8XX や OpenMoko でも動作するようです。

5.4.6 Scratchbox2 for crosscompiling debian

Riku がメンテナンスしている Scratchbox2 を組み込み環境でどのように利用するのか、という話。scratchbox でツールを作成し、scratchbox qemu のフロントエンドとして利用したパッケージ作成ができるようになったので皆で使いましょう。

5.4.7 uclibc and busybox

uclibc と busybox Debian でどのようにサポートしたらいいのかという話。emdebian で busybox ベースの debian 環境をサポートするために頑張っているようです。これらについての意見交換をしました。sh4 もサポートに入る予定です。

5.4.8 emdebian BoF

毎回恒例になっている emdebian の進捗報告。emdebian では、Emdebian Grip と Emdebian Crush の 2 つのプロジェクトが進行中。前者は busybox/uclibc ベースの debian を、後者は現在の Debian をクロスコンパイルサポートするプロジェクト。emdebian-tools ができて、ある程度ましになったけど、まだ不具合が多いので開発者募集中。apt-cross は依存関係の実行がまだまだなので、今後力をいれて開発していくとのこと。私からは sh4 のサポートもするから強力しろ、と言っておきました。

5.4.9 QEMU for Debian Developers

aurel32 によるフリーの CPU エミュレータである qemu の進捗状況と使い方について。Debian でサポートしてるアーキテクチャのほとんどは qemu でサポートしているのでマシンが手元になくてもデバッグできるよ、という話。

イメージも彼の Web サイトにあるので、mips や ppc などを試したい人はどうぞ。

5.4.10 Crossbuilding on Debian for a derived distro

既存の Linux 組み込みシステムから Debian のシステムに移行した時の話とツールの使い方、クロスコンパイルの方法についての話。発表者の Wooky は去年から会社が変わったのですが、システムを Debian に移行したので、そのときに行った方法を話していました。CMake でのクロスコンパイルが面倒だったようです。

5.4.11 xcontrol

Simon が毎年やっている xcontrol の話。debian/control ファイルを拡張してクロスコンパイルパッケージや、バックポートのサポートを容易にしましょうというセッション。前回から進展があったのかは不明です。

5.5 ツール関係

5.5.1 News on Debian Autobuilding

buildd の現状と問題点の報告。dep-wait、failed の遅延への対応や、パッケージプライオリティに対応したビルドについて議論されました。

5.5.2 Trust is good, control is better

パッケージのインストール、アンインストールのチェックができる piuparts の進捗報告。HP のマシン 2 台を使って、すべてのパッケージのチェックを定期的に行っています。これにより、次期リリースではパッケージのインストール、アンインストールが問題なくできるようになるでしょう。

5.5.3 Using FOSSology for license analysis in Debian

tbm によるコードライセンス解析ソフトの話。deb, rpm, tar ボールなどをリポジトリに食わせライセンスの構文解析を行った結果を DB にまとめているとのこと。ライセンスと Copuright がどのように変化していったのかまで調査できるようです。デモをしていましたが、ちょっと動きは遅いかな。今後に期待です。 <http://fossology.org/>

5.5.4 not your grandpa's debhelper

Joey による debhelper の解説。debhelper は dh_ のプログラムを提供しますが、これらをまとめたコマンド dh を作りましたという話。dh を使うと debian/rules を以下のようにまとめることができます。

```
#!/usr/bin/make -f
%:
dh: $@
```

各ターゲットもオーバーライドすることができて、override_dh_xxxx を作成しておくと呼ばれるようになります。dh 勉強会とかやりたいですね。

5.5.5 UDD: Ultimate Debian Database

Debian/Ubuntu のパッケージ情報や popcon 情報、debtags、LDAP、アップロード履歴、DDTP、testing ミグレーション、バグ、NEW キュー、lintian、スクリーンショット URL 等々といった情報を全部 PostgreSQL データベースに突っ込んでデータマイニングしてみました、というお話。merkel や alioth でも試せる。

5.5.6 pam-auth-update: manhandling debconf for fun and profit

squeeze から新しく導入された、pam-auth の設定ツールです。今までは、/etc/pam.d/以下を手動で設定していましたが、/usr/share/pam-configs 以下のテンプレートを使い、postinst、prerm の中で、pam-auth-update コマンドを実行することで簡単に pam-auth の設定をできるようになります。3rd party 製のツールも、これに則れば簡単に導入出来るようになるので、ユーザにとってもとてもメリットが大きいです。Sid の環境では、次のファイル

が既にこの制御下にあるようです。

- /etc/pam.d/common-account
- /etc/pam.d/common-auth
- /etc/pam.d/common-password
- /etc/pam.d/common-session

5.5.7 Changing the default system shell

デフォルトシェル /bin/sh をなぜ変えるのか？ポリシーもあるようですが、切り替える一番の動機としては、遅いからだということを言っていました。bash で記述されたものは約 800 あるうち、fix 済みのものは 160 だそうです。bash を検出するには、devscripts, lintian, archive rebuilds, piuparts, ユーザの報告があるそうです。最終的には自分で判断して bash にするのをやめ、dash を選択するようにしてほしいと言っていました。

5.5.8 DDE, Debian Data Export

Debian に関する情報を HTTP プロトコルで取得することができる RESTful アプリケーションのようです。
<http://dde.debian.net/dde> や <http://debtags.debian.net/dde> から、データを取得することができます。

5.5.9 Libvirt: Hypervisor independent virtual machine management

libvirt という仮想マシンを扱うための API の話です。Debian 固有の話は特になく、libvirt の紹介をしていました。Debian でもちゃんと使えるようなので、ぜひ使ってみましょう。

5.5.10 RFH maintaining big packages

iceweasel のパッケージメンテナの Mike さんの BOF。iceweasel, OOo では、どうやってユーザや開発者をより多く巻き込んでいくか、活動を宣伝していくか、という点で議論が交わされました。

5.6 リリース関係の話

5.6.1 Keynote from the Release Team

Release team によるキーノート。Debian からのニュース <http://www.debian.org/News/2009/20090729> でも流れているようにこの場で、次期安定版である Squeeze のフリーズとタイムベースリリースの話が出ました。うまく行くか不安ではありましたが、その場ではいけるんじゃないか？という空気になっていました。（案の定、ML ではフレームになっていますが。）

5.6.2 GPG サイン

Debconf9 開催前に DSA の脆弱性が発覚し、これにより新しい GPG 鍵を作成する必要がでてきました。新しく作成した鍵を使って開発者同士で鍵サインをする必要が出てきたため、今回の Debconf では GPG サインが活発に行われました。今回のポイントはこれまでの事務的な手続きを反省して、Debconf 開始に際してセッションを開き、チェックサムの検証を行って、あとは好きなときにちゃんと相互におしゃべりをしながらサイン交換しようということがとても重要だったと思います。名札に GPG 鍵リスト上で割り当てられた番号が書かれていて、やりとりを促進するようにもなっていました。おかげで我々は 29 日夜のサインパーティに出られないながらも、hacklab や食事どき、デイトリップの最中などいろいろな場面で多数サイン交換ができました。

武藤さん、岩松は 40 名ぐらいの参加者と交換することができました。

5.7 Daytrip

Debconf では一日、参加者で旅行をするというイベントがあります。今回の Debconf では 会場からバスで 2 時間ほど移動したところにあるエクストラマドゥーラ州が運営しているキャンプ場に移動し、そこから 1 時間ほどハイキングをしました。ハイキングの先には、自然でできたプール (Natural Pool) があり、そこで皆で泳いだり飛び込んだり、滝に打たれていました。一部溺れかけてた人もいたようですが、皆無事だったようです。4 時間ほどそこで遊んだ後、別の場所に移動し、みんなでビールを飲みました。そこにも川をせき止めたプールがあるのですが、皆のグランパである Joey が足をぎっくり切ってしまうイベントが発生し、救急車が呼ばれるハプニングがありました。



5.8 Debconf11

Debconf11 はボスニアとドイツが立候補しました。ドイツはまだ場所が決まっていないようですが、今年中に場所を確定させるようです。ソマリアはトランジットが面倒ですが、開催地は空港から数キロのところであり、そんなに困らないように感じました。ドイツは Debian 開発者が一番多い国で、Debconf チーム (orga) のメンバも多いため、ドイツ濃厚な気がします。

5.9 今回の Debconf 参加によるハックの成果

5.9.1 武藤さん

ツアーコンダクターとして、マドリッド観光や現地での皆さんの安全・食事探しに取り組みました。

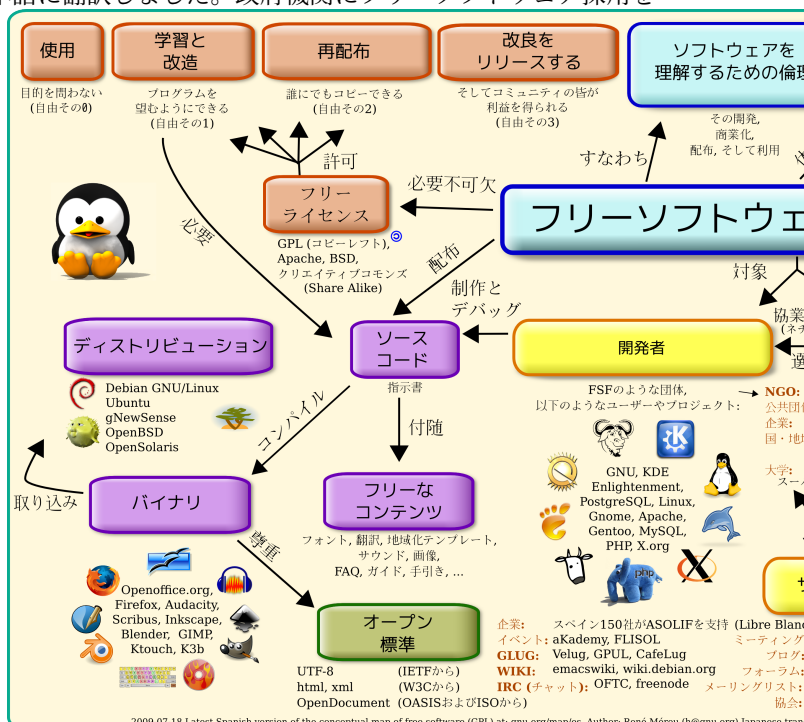
● ドラゴンクエスト IX

出発時には最初の村を出るところでしたが、移動時間中だけで遊んでいたにもかかわらず、成田に戻る飛行機ではラスボスと戦っていました。全滅してしまったのもう少し経験を重ねたいと思います。

● フリーソフトウェアマップの翻訳

スペインでフリーソフトウェアの活動を進めている GNU プロジェクトメンバーの Rene Merou に頼まれて、彼らの作っているフリーソフトウェアマップを日本語に翻訳しました。政府機関にフリーソフトウェア採用を

働きかけるなど、活発な活動をしているそうです。



● ハードウェア互換性リストとハードウェアサポートページの友好関係構築

Debian のハードウェアサポートの情報を収集して Wiki(<http://wiki.debian.org/HardwareDatabase>, <http://wiki.debian.org/DeviceDatabase/PCI> など) にまとめている Franklin Piat に会って、私の Debian HCL(<http://kmuto.jp/debian/hcl/>) とどのような協業ができるかを話し合いました。まずは彼の USB データベースの成果を生かして、lsusb コマンドを貼り付けることで USB のサポート情報を表示するように HCL を拡張できるかを検討することになりました。

- 国際化チームミーティング

恒例の国際化チームミーティングは期間中 4 回開催され、Wiki や DDTP について議論がなされました。Squeeze ではリリースノート Wiki ベースで制作・編集するというトライアルが実施されます。Wiki のように変動の激しいものを翻訳するための手法として、po フォーマットに変換してパラグラフ単位で作業できるような手法も実施予定です。Debian のパッケージ説明翻訳機構の DDTP についても、多数の改善提案が出されました。パラグラフ単位でのマッチングや fuzzy マーキング、一般翻訳者を統轄するコーディネータという役割および特権を用意して一括置換や管轄する翻訳メンバーへの一斉連絡といった機能が追加される見込みです。日本の DDTP 翻訳チームでも、いずれどなたかにコーディネータに立候補いただくことになると思われます。

- 講演レポート

各講演内容については <http://kmuto.jp/d/index.cgi/travel/20090722-spain.htm>, <http://kmuto.jp/d/index.cgi/travel/20090726-spain.htm>, <http://kmuto.jp/d/index.cgi/travel/20090728-spain.htm> に短いながら報告しています。詳細については Debian の関連メーリングリストや Debconf サイトで掲載予定のビデオなどを参照してください。

3 年ぶりの参加でしたが、新旧の友人たちと語らい、GPG サイン交換し、Debconf 初参加者に Debconf を体感してもらい、国際化チームミーティングで up-to-date な情報を得る、と当初の目的はいずれも達成できました。充実したカンファレンスだったと思います。

私自身は今後徐々に Debian に関する活動のペースを落としていくつもりなので (すでにだいたい落ちてしまっていますが)、特に DDTP 関係者の Debconf および国際化チームミーティングへの参加を望みます。

5.9.2 山根さん

兎に角、「参加することに意義がある」と言うことで参加してみました。初海外だったのでドキドキものです。色々と皆さんに助けていただきました。

- po-debconf 訳

多少は fuzzy, untranslated を潰しました。

- フォントパッケージのライセンス確認

日本語フォントについて、何故かスペインについてから upstream に確認を取り始める私。「OFL だよ」「完全にフリーです、著作権も行使しません」との返答を得ました。パッケージにするのは description と defoma-hints ファイルの作成が待っていますが…

- 参加レポート

これとは別にまた少しだけ書いておこうと思います。

- GPG keysign

15、6 人ほどと鍵交換したはず。caff 便利なんですね。そのうち使い方とかまとめたのかも。

- java policy 訳 review

帰りの飛行機で半分ほどをレビューしました。何故。

逆に課題としてもらってきたのは「英語英語英語～」ですね。かなり精進が必要な模様です。

5.9.3 前田さん

数ヶ月溜まっていたタスク、問題を ToDo として取り組みました。

- MacBook 5,2 の使えないデバイスを使えるようにする

所有している MacBook は 2008 later モデル (通称 MacBook 5,2) ですが、DebConf に行く前に以下のような問題を抱えていました。

- 無線 LAN を使えない

Broadcom bcm4322 が搭載されており、b43 で将来的にはサポートされるらしいのですが、現状では Broadcom が提供している STA ドライバを使用するしかありません。ただし、普段、vanilla kernel の最新 stable を使用していると、このデバイスドライバをビルドできない、という問題があります。スペインから Twitter でつぶやいていたら、Gentoo の松鶴さんに、Gentoo のパッチを使ってみては、と教えていただき、x86 用のパッチを参考に、amd64(x86_64) 用にコードを書き直したところ、正常に無線 LAN を使えるようになりました。

実は Debian に既に Broadcom-sta ドライバ用のパッケージがあり、これを使うと上記の問題は既に解決されている、というオチもついてました。^{*3}

- 音が出ない

サウンドデバイスは認識しているものの、音が出ない、という現象にハマっており、`/etc/modprobe.d/alsa-base.conf` の設定をしなおすことでシステムブート時に音が出るようになりました。

が、これが非常にけたたましいピーブ音で、イヤホンジャックにイヤホンを挿してもなりやまず、Hacklab1 内でかなり騒音 (ひんしゅく) を買ってしまった…。orz

帰国してから再設定したのですが、再び音が出なくなり、四苦八苦中です。

- iSight が対応していない

isight-firmware-tools が、MacBook 購入時 (2009 年 5 月末) では対応していなかったのですが、久しぶりに実行してみたら何もすることなくあっさりファームウェアを抽出でき、使えるようになりました。

- ACPI を有効にすると起動できない

この問題は未だ解決しておらず、ACPI を無効にするためバッテリー駆動の場合、残量が分からないとか、正常に電源を切れないため reboot ができず必ず shutdown しないといけないとか、ハイバネーションを行うと、復帰時に ACPI を有効にしたときと同様に画面がブラックアウトして固まってしまう、という問題があります。

DebConf で MacBook を使っている人に聞いてみようかと思っていたのですが、同じ世代の MacBook を使っている人が少なく、持っていない Mac OS X を使っているのも、断念しました。

ACPI の ML で聞いてみる予定です。

- Java Policy の翻訳

4 月の Debian 勉強会のネタとして、Java Policy を読んでみましたが、中途半端なところで翻訳を中断していました。再開するにあたり、PO 形式で整形し直し、未翻訳の部分の翻訳を完了し、debian-doc に投稿しました。

レビューコメントをやまねさんに頂いたのですが、帰国してから飼いはじめたネコに夢中で再び停滞しているので、今回の勉強会後に確認し、修正後、Java Policy の ML への連絡及び、java-common パッケージの BTS を行う予定です。

- GanttProject のパッケージ化

ソースコードの入手方法が分からず、放置していたのですが、Subversion のリポジトリがあることに気づいたので、ドキュメントに沿ってビルドしてみたところ、OpenJDK では正常に動くことを確認しました。

他の Java 開発環境でのビルド、動作確認後、deb パッケージ化を行う予定です。

- TermItter のパッケージ化事前調査

jugyo さんが中心になって開発されている Twitter のターミナルクライアントがあります。iceweasel の extention である twitterfox の使い勝手がいまいちなのと、ちょうど DebConf9 中に動作がおかしくなり、有

^{*3} broadcom-sta-common, broadcom-sta-source パッケージ。i386 用にはバイナリパッケージもあるようです。

効にしていると iceweasel ごと busy になってしまうので、切り替えることにしました。使い勝手がよければ、deb パッケージにしておもうと考え、KVM 環境で検証してみたところ、rubygems で必要なライブラリを導入し、既に deb パッケージで導入済みのライブラリを無視してしまいます。

今後の予定としては、その当たりの解決と、gems で導入されている deb パッケージになっていないライブラリ自体のパッケージ化の検討を行うつもりです。

- おまけ 1. 最近中古で買ったスーパーマリオブラザーズ DS をクリアしました。クッパに息子がいるとは。またクッパはゾンビになってしまったんですね。
- おまけ 2. 最近、帰国後から飼い始めたネコですが、帰国後に引き取りに行くことが決まっていたので、事前にネコの健康本と、ネコの気持ちが分かる本を買っていきました。、帰宅後、熟読して帰ったらヨメにネコ博士と呼ばれるようになりました。

セッションにはいくつか参加しましたが、知らない内容を勉強するために出てみても、英語の聞き取りがほとんど出来ないの、言っていることが分からないという問題にぶち当たりました。そういう場合は、資料が頼りなのですが、事前に配布されていないセッションも多く、おまけにスライドの文字が小さくて前の方の席で眼鏡をかけても見えないようなセッションでは、非常に大変でした。

5.9.4 岩松

岩松は主に sh4 アーキテクチャ向けの開発を行いました。

- builddd hack
Debian / SH4 の builddd が動きはじめました。これにより、SH4 向けバイナリが debian-ports.org が取得できるようになります。パッケージ作成の進捗は <http://www.debian-ports.org> から参照することができます。
また、armel builddd メンテナである Riku と組み込み向け CPU で発生する問題をどのようにフックしていくのか、意見交換を行いました。
- debian kernel
tbm^{*4} を捕まえて、debian kernel config ファイルのハックをしました。sh4 向けカーネルサポートを一通りできました。
- sh4 向けクロスコンパイラのサポートの打ち合わせ
gcc のクロスコンパイラサポートをしている zumbi と会話し、sh4 と uclibc のクロスコンパイラサポートの話をしました。gcc-4.4 ではうまく動作しないので修正したり、クロスコンパイルに必要なパッケージを提供したりしていました。
- defoma
defoma を ITA したままほったらかしにしていたので、CPAN admin をつついて、バグのある CPAN の乗取りを再開しました。CPAN はやりとりが面倒くさいので新しいソフトウェアを作成したほうが早そうです。
- Linux kernel/ U-boot
こっちに来ている間にもパッチが飛び交っているのでメールのチェックとパッチの査読をしていました。
- speedstep-centrino 自分の使ってる MacBook は CoreDuo なので、speedstep-centrino が使えるはずなのですが、モジュールのロードに失敗します。CPU マニュアルを斜め読みして対応してみました。

5.10 次回の Debconf

次回の Debconf10 は 米国のニューヨークで開催される予定です。一部の日本人が日本での開催を再度目論んでいるようです。スポンサーとか会場情報募集中。

^{*4} 元 DPL, arm のカーネルメンテナ



Debian 勉強会資料

2009 年 8 月 8 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
